

2. 流域及び河川の自然環境

2-1 流域の自然環境

関川、保倉川の上流部は、上信越高原国立公園、直峰松之山大池^{なおみねまつのやまおおいけ}県立自然公園に指定されており、妙高山等の山岳景観と相まって優れた水辺景観が形成されている。特に関川の上流部では、ブナの自然林が発達しており、林床には我が国の固有種で日本海側の多雪地帯に分布するシラネアオイやトガクシソウがみられる。また、妙高山麓等に広がる大小の池には、ミズバショウやヒメザゼンソウ等の高地の水辺植物が豊富にみられる。さらに、ブナ等の樹林帶にはオコジョやツキノワグマ等のほ乳類やコルリクワガタ、ヒゲナガゴマフカミキリ等の昆虫類も生息しており、清冽な流れの水域にはイワナ、カジカ等が生息している。

関川の上流部から中流部にかけては、山地や丘陵地が川にせまっており、河岸とその周囲の丘陵地ではコナラーカリ群落が優占し、オニグルミやクヌギ、コナラ等の里山林として人と関わりの深い落葉広葉樹林がみられる。

関川の中流部から下流部にかけては、幅が広がり河床勾配が緩やかとなる渋江川合流点から下流の中州や河岸に、カワヤナギ等のヤナギ類が小群落を形成し、オオアオゾウムシやコムラサキ等の昆虫類が生息している。一方、高水敷にはヨシやオギ等の高茎草本群落が広がっており、タヌキやウサギ等のほ乳類を始め、オオヨシキリやヒバリ、ミサゴ等の鳥類もみられる。下流部は飛来する鳥類も豊富で、特にサギ類は中州や堰周辺で数多くみられる。また、水域にはオイカワをはじめとしたコイ科の魚類が広く生息し、矢代川合流点付近はアユやウグイ等の良好な産卵場となっており関川の特色となっている。

2-2 河川の自然環境

(1) 最上流部

急峻な山地を流れている真川、ニグロ川が合流する笛ヶ峰ダム^{しんかわ}から笛ヶ峰高原までの間はブナの自然林が広く発達すると共に、小さな谷川、湿潤地にはタマガワホトトギス、クガイソウ、リュウキンカ、オオシラヒゲソウ、ミズバショウ等が生育している。

(2) 上流部

真川とニグロ川は笛ヶ峰ダムで合流し関川と名前を変える。周辺はかつてブナ林に覆われていたが、現在はススキからなる茅場やスギの人工林が広がっている。湿潤な谷あいや小規模なミズナラやシラカバの林が残る池沼及びその辺縁には、コウリンカ、カセンソウ、ツリガネニンジン、トモエシオガマ、マツムシソウ、ナガホノナツノハナワラビ、ミツガシワ、ミズバショウ、ヒメザゼンゾウなど氷河時代の寒冷な気候下からの生き残りで遺存種（レリック）と呼ばれる種が多く、学術上貴重なものが見られる。上流部の河川にはイワナやヤマメ、カジカなどの渓流魚、カゲロウ類やサワガニなどの水生

生物が見られる。また、野尻湖にはワカサギやギンブナ、近年移入されたオオクチバスなどが確認されている。

(3) 中流部

妙高市南新井から下流部、矢代川合流点までの関川の中流部は、河床勾配がきつく、川幅が狭い。関川が平野部にかかるとする妙高市堀之内にかけては、平成7年の7.11水害の復旧のため、コンクリートブロックや石張りにより護岸が整備され、川岸付近には植生は見られない。

魚類はウグイをはじめオイカワ、アブラハヤ、タモロコ、カマツカなどのコイ科の魚が中流域を代表する魚としてあげられる。これらの魚は左支川の矢代川に多いだけでなく、下流部にも広く生息しており関川の特色となっている。また、カワゲラ類やウルマーシマトビケラなどきれいな水の指標生物である水生生物も生息している。

(4) 下流部

矢代川合流点から河口までは関川の下流となる。下流部は渋江川の合流付近から河床勾配が緩やかになるとともに川幅は広がり、それらに従って河床も次第に砂が多くなり、各所に中州が形成されている。管理された河川の高水敷にはヨシやススキ群落、オギをはじめとした高茎草地が広がり、岸辺にはカワヤナギやバッコヤナギなどの小低木がびっしり繁茂している。

哺乳類は多くないが、高水敷の草地等では、タヌキやウサギ、ネズミ類が見られる他、下流部には、ヒバリ、イソシギ、カツブリ類、ハクセキレイ等一年間を通じて様々な鳥類が見られることも特色の一つである。特にサギ類は種類、個体数とも多く見ることができる。また、魚をねらう猛禽類のミサゴをはじめ、チョウゲンボウの姿が確認できる。

下流部は感潮域となっているため、春日山橋付近までスズキやボラなどの汽水魚が見られるほか、河口付近では、クロダイ、クサフグ、アカエイなども確認され、魚類相は豊富である。春先にはサクラマスやシロウオ、アユの稚魚、秋にはサケが産卵のために海から遡上してくるのが見られる。ただし、近年オオクチバスが上流の野尻湖から下流の保倉川にかけて見られるようになり、在来魚類に与える影響が心配されている。冬季には河口付近はウミネコをはじめとしたカモメ類やカモ類の休息地となっている。

(5) 関川における特定種

関川における特定種を、河川水辺の国勢調査等の調査結果をもとに、レッドデータブック・レッドリスト（環境省）の記載種、天然記念物指定種等の学術上又は希少性の観点から抽出した。

表 2-1(1) 特定種の選定基準（植物）一覧表

	法令・文献名	指 定 定	特定種選定基準の根拠	
			記号	カテゴリー区分
条例・法律	文化財保護法（法律第214号）【文化庁 1950年】	文化財	国特天	国指定特別天然記念物
			国天	国指定天然記念物
			県特天	県指定特別天然記念物
			県天然	県指定天然記念物
『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』の国内希少野生動植物種	保存法	指定種	国内希少野生動植物種	
環境庁編（1976）『緑の国勢調査（昭和51年3月）』における「すぐれた自然の調査」の貴重な群落	第1回			
環境庁編（1980）『第2回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）特定植物群落調査報告書 日本の重要な植物群落』における特定種群落	第2回			
環境庁編（1988）『第3回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）特定植物群落調査報告書（追加調査・追跡調査）日本の重要な植物群落II』における特定植物群落	第3回			
文献・報告書	我が国における保護上重要な植物種及び植物群落の研究委員会植物種分科会（1989）「我が国における保護上重要な植物種の現状」掲載種	R D B	(Ex)	絶滅
			(E)	絶滅寸前
			(V)	危険
			(R)	稀少
			(U)	現状不明
			(EX)	絶滅
環境省編（2000）『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物－レッドデータブック－8 植物I（維管束植物）』掲載種		改 訂 R D B	(EW)	野生絶滅
			(CR)	絶滅危惧 I A類
			(EN)	絶滅危惧 I B類
			(VU)	絶滅危惧 II類
			(NT)	準絶滅危惧
			(DD)	情報不足
			(LP)	絶滅の恐れのある地域個体群
			(EX)	絶滅
新潟県（2000）『レッドデータブックにいがた』掲載種		県 R D B	(EW)	野生絶滅
			(EN)	絶滅危惧 I類
			(VU)	絶滅危惧 II類
			(NT)	準絶滅危惧
			(LP)	絶滅の恐れのある地域個体群

表 2-1(2) 特定種の選定基準（動物）一覧表

	法令・文献名	指定	特定種選定基準の根拠	
			記号	カテゴリー区分
条例・法律	文化財保護法（法律第214号）【文化庁 1950年】	文化財	国特天	国指定特別天然記念物
			国天	国指定天然記念物
			県特天	県指定特別天然記念物
			県天然	県指定天然記念物
『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』の国内希少野生動植物種	保存法	指定種	国内希少野生動植物種	
文献・報告書	環境庁編（1976）『緑の国勢調査-自然環境保線調査報告書』における「すぐれた自然の調査」対象種	第1回	主要野生動物（鳥類）	
	・環境庁編（1983）『第2回緑の国勢調査-第2回自然環境保線調査報告書』における稀少種 ・環境庁編（1980）『日本の重要な昆虫類』における指標昆虫および特定昆虫 ・環境庁（1982）『日本の重要な淡水魚類』対象種 ・環境庁編（1982）『日本の重要な両生類・は虫類』掲載種	第2回	・稀少種（鳥類） ・特定昆虫（陸上昆虫類）	
			(Ex)	絶滅種
				絶滅危惧種
				危急種
	環境庁編（1991）『日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック』掲載種	R D B	(R)	希少種
			(LP)	地域個体群
			(EX)	絶滅
			(EW)	野生絶滅
			(CR)	絶滅危惧 I A類
新潟県	環境庁編（1999）『汽水・淡水魚類レッドリスト』および環境庁（2000）『無脊椎動物レッドリスト』掲載種 環境庁編（2000）『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック（爬虫類・両生類）』掲載種 環境庁編（2002）『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-1 哺乳類』掲載種 環境庁編（2000）『無脊椎動物レッドリスト』掲載種	改訂 R D B	(EN)	絶滅危惧 I B類
			(VU)	絶滅危惧 II類
			(NT)	準絶滅危惧
			(DD)	情報不足
			(LP)	絶滅の恐れのある地域個体群
			(EX)	絶滅
			(EW)	野生絶滅
			(EN)	絶滅危惧 I類
新潟県	新潟県（2000）『レッドデータブックにいがた』掲載種	県 R D B	(VU)	絶滅危惧 II類
			(NT)	準絶滅危惧
			(LP)	絶滅の恐れのある地域個体群

表 2-2 関川で確認された特定種確認場所

①	関川河口(0.0km~1.4km)
②	関川下流(1.4km~4.8km)
③	関川中流(4.8km~9.5km)
④	関川上流(9.5km~12.2km)
⑤	保倉川流域
※① 保倉川直轄外	

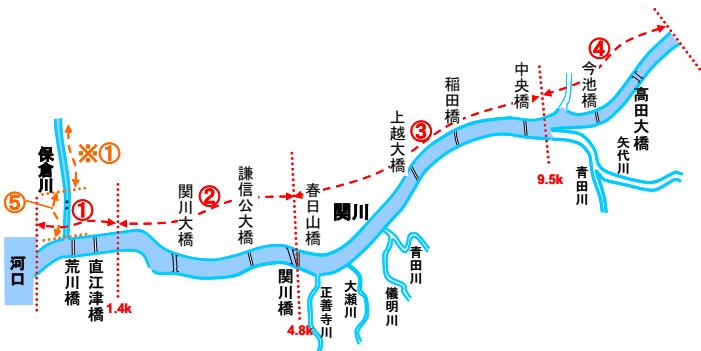


表 2-2(1) 関川で確認された特定種一覧 (鳥類)

種名	確認場所	確認年度		指定状況						
		H7	H12	文化財	保存法	第1回	第2回	R D B	改訂R D B	県R D B
カンムリカ イツブリ	①～②	○					稀少種	危急種		
			○							
カワウ	①～②	○	○			主要野生 動物				
	③～④		○							
チュウサギ	③	○						希少種	準絶滅危惧	
ミサゴ	①～③	○	○				稀少種	危急種	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	④		○							
ハチクマ	③		○				稀少種	希少種	準絶滅危惧	準絶滅危惧
オジロワシ	①～②		○	国天	国内希少野生動物種	主要野生動物	稀少種	絶滅危惧	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 I B類
ハヤブサ	①～②		○		国内希少野生動物種		稀少種	危急種	絶滅危惧 II 類	準絶滅危惧
チョウゲン ボウ	①～②		○				稀少種			
	③～④	○	○							
オオジシギ	③	○				主要野生 動物	稀少種	希少種	準絶滅危惧	
ズグロカモ メ	①～②	○							絶滅危惧 II 類	
コアジサシ	①～②	○						希少種	絶滅危惧 II 類	
カワセミ	①～②	○				主要野生 動物				
	③～④	○	○							

表 2-2(2) 関川で確認された特定種一覧（魚介類）

種名	確認場所	確認年度		指定状況						
		H6	H11	文化財	保存法	第1回	第2回	R D B	改訂 R D B	県 R D B
アカザ	※①		○						絶滅危惧 II類	
メダカ	③	○							絶滅危惧 II類	
	④, ①		○						準絶滅危惧	

表 2-2(3) 関川で確認された特定種一覧（底生動物）

種名	確認場所	確認年度		指定状況						
		H6	H11	文化財	保存法	第1回	第2回	R D B	R L	県 R D B
イサザアミ	①		○							準絶滅危惧

表 2-2(4) 関川で確認された特定種一覧（陸上昆虫類）

種名	確認場所	確認年度			指定状況					
		H4	H9	H14	文化財	保存法	第1回	第2回	R D B	R L
クツワムシ	④	○						特定昆虫		
ホソハンミョウ	②	○						特定昆虫		
	③		○							

表 2-2(5) 関川で確認された特定種一覧（両生類・爬虫類・哺乳類）

種名	確認場所	確認年度			指定状況						
		H5	H10	H15	文化財	保存法	第1回	第2回	R D B	改訂 R D B	県 R D B
トノサマガエル	②～④		○								絶滅危惧 II類
	④			○							
イシガメ	①～②			○							準絶滅危惧

表 2-2(6) 関川で確認された特定種一覧（植物）

種名	確認場所	確認年度			指定状況							
		H3	H8	H13	文化財	保存法	第1回	第2回	第3回	RDB	改訂RDB	県RDB
アキノハハコ グサ	③～④		○								絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 I類
アギナシ	②～③	○									準絶滅危惧	
イトモ	①～④		○									絶滅危惧 II類
イヌドグサ	④, ⑤			○								準絶滅危惧
カラスノゴマ	①			○								絶滅のおそれのある地域個体群
カワラサイコ	⑤			○								絶滅危惧 II類
クロモ	④			○								絶滅危惧 II類
シオクグ	①		○									絶滅のおそれのある地域個体群
テキリスグ	③～④		○									絶滅のおそれのある地域個体群
ノアズキ	③～④	○										絶滅のおそれのある地域個体群
	①～③		○									
ノウルシ	①～③ ⑤			○							絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II類
ノカンゾウ	③～④	○										準絶滅危惧
ノニガナ	①～④	○										絶滅危惧 II類
	⑤		○									
ハダカホオズ キ	③～④		○									準絶滅危惧
フジバカマ	③～④		○							寸前	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II類
マスクサ	③～④		○									準絶滅危惧
マルバハギ	③～④	○										準絶滅危惧
	③～④		○									
ミズマツバ	①～③		○								絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II類
ワレモコウ	③～④	○										絶滅危惧 II類
マルバマンネ ングサ	③～④	○										絶滅のおそれのある地域個体群
タコノアシ	⑤			○						危険	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II類
ツルナ	①			○								絶滅危惧 II類
ハマゴウ	①			○								絶滅のおそれのある地域個体群
ミクリ	④			○						危険	準絶滅危惧	準絶滅危惧
ヤガミスグ	①～④		○									準絶滅危惧

(6) 関川の注目種

【魚介類】



アユ

ウグイ

オオクチバス



カジカ



メダカ（貴重種）

【鳥類】



オジロワシ（貴重種）

カンムリカツブリ（貴重種）

チョウゲンボウ（貴重種）



ヒバリ



ミサゴ

【陸上昆虫類】



【植物】



オガタ



セイタカアワダチソウ



タコノアシ（貴重種）



タチヤナギ



ハンノキ



ミクリ（貴重種）

【両生類・爬虫類・哺乳類】



イシガメ（貴重種）



アカネズミ



タヌキ

2－3 特徴的な河川景観や文化財等

(1) 観光・景勝地

関川流域の自然環境は、関川上流域の妙高山地一帯が上信越高原国立公園に、下流域西側山地が久比岐^{くひき}県立自然公園に、保倉川流域の一部が直峰松之山大池^{なおみねまつのやまおおいけ}県立自然公園に指定され、自然が織りなす素晴らしい景観を見せてている。また、妙高山麓のブナ林および矢代川上流部の火打山（標高 2,462m）に生息する特別天然記念物のライチョウなど貴重な動植物も数多い。

最上流部は、苗名滝や不動滝、乙見湖（笹ヶ峰ダム）などの観光名所をはじめ、随所に見られる滝や早瀬が秀峰妙高山（標高 2,446m）の山岳景観とあいまって四季折々美しい水辺景観を見せ、多くの人が訪れる。上信越高原国立公園に指定されている野尻湖は北信・上越地方最大の湖であり、美しい水面と山々に囲まれた豊かな景観を誇り、大正時代からリゾート地として親しまれている。

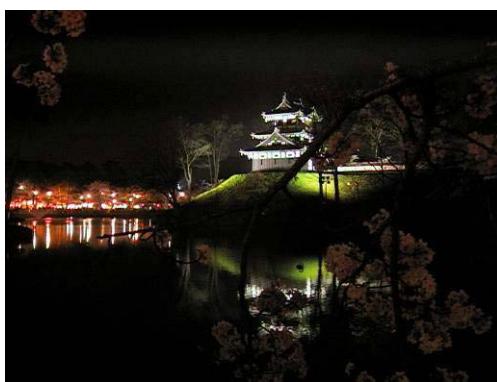
下流部は、日本スキー発祥の地とされる金谷山をはじめとして、久比岐県立自然公園の中に位置し、上杉謙信の居城があった春日山の春のツツジと秋の紅葉、日本三大夜景の一つに数えられる夜桜と東洋一といわれる広いハス池で有名な高田公園等の名勝が存在している。



野尻湖



苗名滝



高田公園の夜桜



高田公園のハス

(2) 文化財等

高田・直江津は平安時代末期に国分寺・国府が置かれたと考えられており、下って戦国時代には名将上杉謙信が春日山城にあって北陸地方に君臨し、江戸時代に入ると城は高田に移され幕末に至るまで越後の行政、文化の中心として栄えた。このような歴史的な背景から数多くの貴重な遺跡や文化財等が残されている。また、関川の河川敷周辺には高田城跡、福島城跡等、数カ所の埋蔵文化財包含地もある。

上越市内には春日山城跡・春日山神社・林泉寺など上杉謙信ゆかりの史跡や、淨興寺・国府別院・越後国分寺の寺号を継いだ親鸞上人の旧跡としても有名な五智国分寺など神社・仏閣・旧跡等が数多く存在している。



春日山城跡



五智国分寺三重塔



林泉寺惣門



高田城（平成5年に復元）

表 2-3 関川流域の国・県指定文化財（新潟県）

【国指定文化財】

重要文化財

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
建造物	淨興寺本堂	1棟	H1. 9. 2	上越市寺町2丁目	淨興寺	江戸中
彫刻	木造 大日如来坐像 (奥ノ院堂安置)	1躯	M39. 4. 14	上越市五智3丁目	国分寺	平安後
彫刻	銅造 如来坐像	1躯	H3. 6. 21	上越市大字大貫1441	醫王寺	奈良
彫刻	木造 一鎮倚像 (像内納入木札に文和3年3月菌阿弥陀仏及び入阿弥陀仏等の記)	1躯	H11. 6. 7	上越市寺町2丁目	称念寺	南北朝

重要有形民俗文化財

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
有民	どぶね (はなきり) 附 檜1点 標4点 あかとり1点	1隻	S30. 4. 22	上越市西本町	上越市 (市立水族博物館保管)	

記念物

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
史跡	春日山城跡		S10. 8. 27 追S49. 3. 18 追S55. 3. 14 追H12. 3. 7	上越市大字中屋敷、大字大豆 大字春日、大字中門前 大字大豆字土橋他	財団法人 春日山史跡保存会	室町
史跡	宮口古墳群		S51. 5. 6	東頸城郡牧村大字宮口	牧村	古墳
史跡	水科古墳群		S51. 5. 6	中頸城郡三和村大字水科	三和村	古墳
史跡	斐太遺跡		S52. 7. 16	新井市大字宮内 新井市大字雪森	新井市	弥生
史跡	観音平・天神堂古墳群		S53. 3. 24	新井市大字篠町字天神堂ほか 新井市大字宮内字観音平ほか	新井市	古墳
天然記念物	虫川の大スギ		S12. 4. 17	東頸城郡浦川原村大字虫川	自山神社	
天然記念物	天神社の大スギ		S16. 11. 13	中頸城郡妙高高原町	天神社	
音楽	ごぜ唄 杉本キクエ (亡) 伊平たけ (亡)		S45. 4. 17	上越市・刈羽郡		

表 2-3 関川流域の国・県指定文化財（新潟県）

【県指定文化財】

有形文化財

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
建造物	五智国分寺三重塔	1基	S51. 3. 31	上越市大字五智三丁目	国分寺	江戸後
絵画	絹本着色法然上人絵伝	6幅	S48. 3. 29	上越市寺町2丁目	淨興寺	室町
絵画	絹本着色少康和尚像	1幅	S49. 3. 30	上越市寺町2丁目	淨興寺	室町前
彫刻	木造 十一面觀音立像	1躯	S29. 2. 10	東頸城郡浦川原村大字熊沢	西山隆	平安後
彫刻	銅造 菩薩立像	1躯	S38. 3. 22	中頸城郡妙高村大字関山	関山神社	朝鮮式 (7世紀)
彫刻	木造 男神坐像	1躯	S38. 3. 22	東頸城郡牧村大字宮口	三島神社	鎌倉中
彫刻	木造 女神坐像	1躯				
彫刻	石造仏頭	3箇	S53. 12. 26	中頸城郡三和村大字水吉271	堂百地藏宮保存会	鎌倉中
彫刻	銅造 阿弥陀如来立像	1躯	S53. 12. 26	中頸城郡妙高村大字関山4805	関山神社	鎌倉後
彫刻	木造 薬師如來坐像					室町前
彫刻	木造 釈迦如來坐像	3躯	S53. 12. 26	中頸城郡板倉町大字東山寺1030	山寺薬師堂保存会	(応永2) (明徳5)
彫刻	木造 阿弥陀如來坐像					
彫刻	関山石仏群	35躯	S55. 4. 15	中頸城郡妙高村関山	関山石仏保存会	平安後 ～鎌倉
工芸品	宝珠文刺柄袈裟並に横被	1領	S39. 3. 22	上越市寺町2丁目	淨興寺	鎌倉以前
工芸品	金銅五鈷鉢・銅舌共・銅五鈷杵	1口	S40. 4. 7	東頸城郡浦川原村大字法定寺	法定寺	鎌倉
工芸品	金銅虚空蔵菩薩懸仏	1面	S43. 3. 29	中頸城郡三和村大字所山田	五十君神社	平安後
工芸品	梵鐘（無銘）	1口	S51. 3. 31	上越市寺町2丁目	淨興寺	室町前（応永末～永享）
工芸品	鶴口 (文安三年六月口日の銘がある)	1口	S57. 3. 26	上越市西本町3-7-26	八幡宮	室町中 (文永3)
書跡典籍	真宗古写聖教類	32冊	S29. 2. 10	上越市寺町2丁目	淨興寺	室町
書跡典籍	親鸞自筆六字名号	1幅	S33. 3. 22	上越市寺町2丁目	淨興寺	鎌倉前 (建長7)
書跡典籍	専修念佛張文日記	1巻	S33. 3. 22	上越市寺町2丁目	淨興寺	鎌倉
書跡典籍	二枚起請文（法然上人法語）	2幅	S33. 3. 22	上越市寺町2丁目	淨興寺	室町後 (文明10写)
書跡典籍	十二光仏名号本尊	1幅	S33. 3. 22	新井市大字小出雲	昭光寺	南北朝
古文書	本願寺歴代門主書状	4幅 (30通)	S38. 3. 22	上越市寺町2丁目	淨興寺	室町
考古資料	籠峰遺跡出土品 附 石棺状配石墓2基	一括 (1,242点)	H13. 3. 23	中頸城郡中郷村大字二本木1763	中郷村教育委員会	縄文中期 ～晚期

記念物

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
史跡	高田城跡		S29. 2. 23	上越市本城町	上越市	江戸前
史跡	関山宝蔵院跡		S55. 4. 15	中頸城郡妙高村大字関山字新林	個人妙高村	中世
史跡	籠峰遺跡		S62. 3. 27	中頸城郡中郷村大字稻荷山新田字籠峰ほか（面積2,787.35m ² ）	中郷村	縄文晩
天然記念物	櫛池の大スギ		S29. 2. 10	中頸城郡清里村大字中条	八幡神社	
天然記念物	坊金の大スギ		S31. 3. 23	東頸城郡安塚町大字坊金	安塚町（坊金神社）	
天然記念物	櫛池の隕石		S49. 3. 30	中頸城郡清里村岡野町	清里村（清里村歴史民俗資料館保管）	

出典：新潟県の文化財（H16. 4. 1 新潟県教育庁文化行政課）

※関川流域対象市町村（旧市町村名で記載）

新潟県：上越市、頸城村、安塚町、板倉町、三和村、浦川原村、大島村、牧村、清里村、

中郷村（以上上越市）

新井市、妙高村、妙高高原町（以上妙高市）

長野県：飯山市、戸隠村（長野市）、信濃町

2-4 自然公園等の指定状況

関川流域内は自然公園地域、鳥獣保護区域等に指定されている。

自然公園としては、新潟・長野・群馬の3県にまたがる上信越高原国立公園の他、上越市西部山地に位置する久比岐県立自然公園および保倉川最上流部菱ヶ岳山麓地域を中心とした直峰松之山大池県立自然公園の2カ所が指定されている。また、鳥獣保護区は8カ所指定されている。

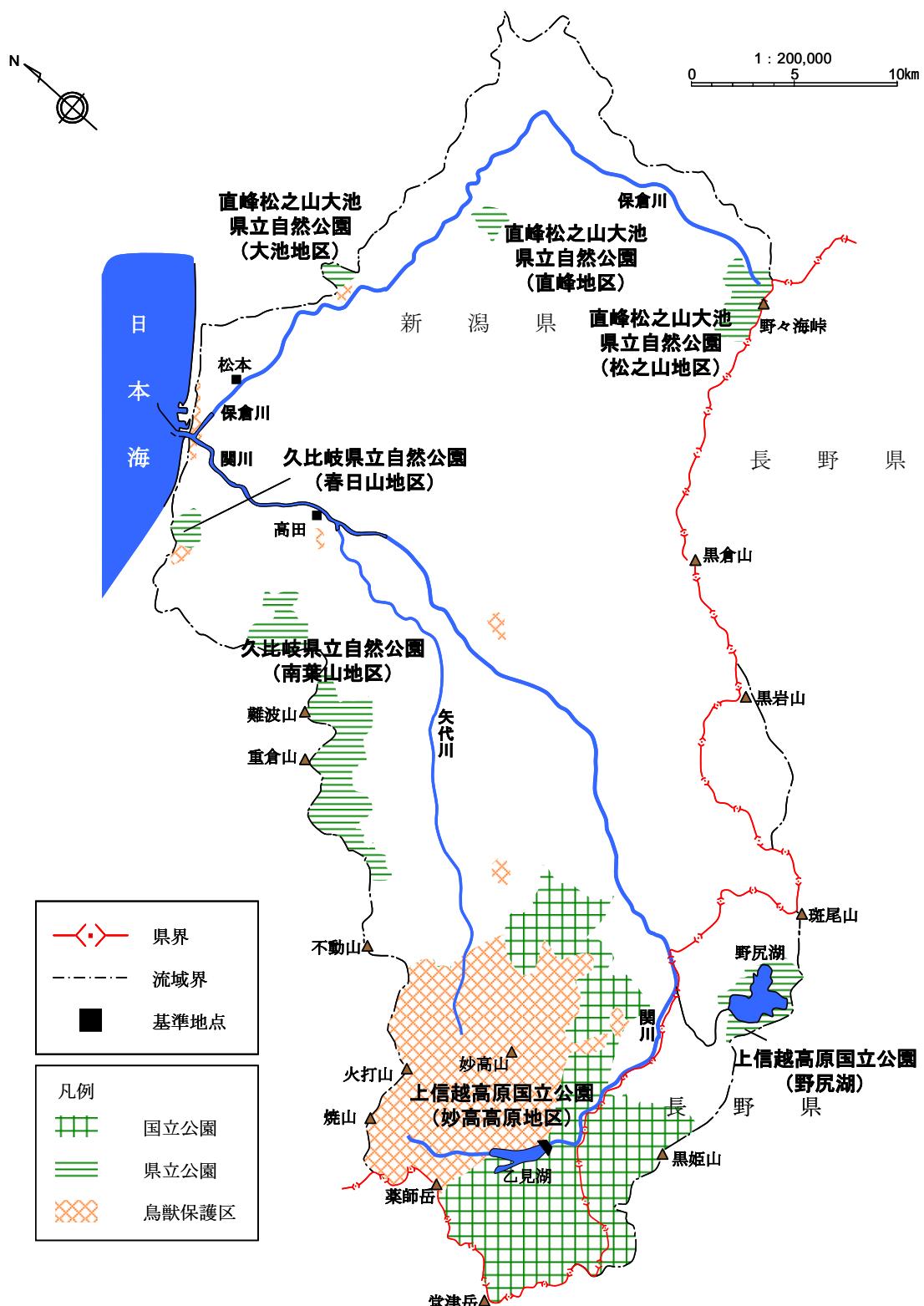
表2-4 自然公園一覧

適用区域名等	名 称	指 定	面積(km ²)
国 立 公 園	上信越高原国立公園	昭和24年9月7日 追加指定 昭和31年7月10日	471.06 [170.0]
県立自然公園	久比岐県立自然公園	昭和34年3月24日	82.82 [26.0]
	直峰松之山大池県立自然公園	昭和34年10月2日	71.08 [11.0]

[] 書きは、関川流域内の該当面積



上信越国立公園に位置付けられている笹ヶ峰ダム湖畔（乙見湖）



出典：新潟県自然公園配置図、自然（緑地）環境保全地域配置図（新潟県 S59）

新潟県鳥獣保護区等位置図（新潟県 S61）

図 2-1 關川流域の自然公園等位置図